

## 第1回学校運営協議会 議事録

### 1 委員の委嘱

- ・教育委員会より任命書を手渡し、委員の委嘱をする。

### 2 会長挨拶

- ・区長になって、3年目。先日、脇之島校区まちづくり市民会議子どもスタッフに対して、「自治会とは」「町内会」について説明を求められ、子ども目線で説明をしたが、子供たちにとっては、夏祭りなど記憶に残ることが一番だと感じた。現在、ホワイトタウンの人口は6000人を切ってしまい、それに伴い児童も減少している。今、青パトの活動をしていると、手を振ってくれるし、子どもから挨拶をしてくれていい環境となっているので、コロナ前の活気ある状態にしていきたい。

### 3 校長挨拶

- ・本年度は全校児童207名でスタートした。2年生、5年生が2クラスで計10クラスとなった。現在、学校では、コロナウイルス感染対策を行いながら諸活動を行っている。この前、観劇を行ったが、コロナ禍前ならば全校が一斉に集まって行うところを、低学年と高学年の2つに分けて開催した。この日の欠席者は1名で、楽しいことがあると子どもも足が学校に向くので、これからも子供たちの健康管理を行いながら、学校を運営していきたい。

### 4 議事

#### (1) 令和4年度 学校運営方針について(校長より)

- ・資料2をもとに、学校運営基本方針を説明。

#### (2) 諸連絡(教頭より)

- ・資料3をもとに、学校運営協議会年間計画を説明。
- ・資料4をもとに、緊急時メール(絆ネット)登録を依頼。
- ・別紙をもとに、6月4日(土)開催の運動会参加を案内。
- ・別紙をもとに、提出書類の確認と書類提出を依頼。

### 5 授業参観

### 6 意見交流

- ・(委員より)日本の科学技術に関する状況は芳しくない。私が退官する数年前は、大学教授1人あたりの研究費が年間24万円で、科学技術に費やすお金も減らされているような状況となった。このように、予算のない中で何ができるかと考えたとき、「ソフト面を充実させていくことが必要」という結論に至った。学校が、人を優しく包み込む「思いやる子」、つまり人間性を育てようとすることは大切である。一方で、発想力、創造性を高められるよう指導することも大切にしてほしい。新しい社会を創るような子どもづくりが重要だ。競争意識は嫌煙される世の中になっているが、競争とは「できることを伸ばす」ということなので、子どもたちのできることを伸ばしてほしい。
- ・(委員より)脇之島校区まちづくり市民会議では、6月11日(土)に少年の主張大会を計画している。コロナ禍対応のため、運営スタッフも含め、人数を減らして行う。小学校では、子どもスタッフに36名が応募してくれた。今年は、企画・運営についてはできる限

り子どもに行わせたいと考えている。運営側の大人が役割を出すと、それに従うだけになってしまうので、子供たちに考えさせて、主体性を養いたいと考えている。

- ・(学校より) 音楽室の机にパーティションが付けてあったと思う。これらのパーティションは、昨年度PTAから購入していただいた。今日の音楽で5年生がリコーダーを吹いていたが、このようにコロナ禍でも、児童ができる限り活動できるようPTAにも支えていただいております。感謝している。
- ・(委員より) 昔、脇之島の子は昭和小学校に通っていた。その頃は運動会等の上位を脇之島の子が占めていた。長い距離を歩きながら体力を付けていたのだと思う。だからこそ、体力を鍛えることにも力を入れてほしい。
- ・(委員より) 授業の様子を参観して、子供たちが伸び伸びと行っていた。教師が上手に子どもを引いて授業を行っていた。また、教師が、ある一人の子の意見を他の子に広げるようにしていたので、子供たちは授業を楽しんでいるように思えた。本年度も公民館と活動できるよう協力をお願いしたい。
- ・(委員より) 多治見市ハッピープランというものがあって、脇之島はモデル地区となっている。現在、家庭の日当たる毎月第3日曜日に、中央グラウンドでラジオ体操を行っている。その一環として、本年度も7月21日～31日に、脇之島小学校グラウンドで夏休みのラジオ体操を行いたい。
- ・(委員より) 例年、地域と小学校合同で作品展を行っている。本年度も9月3日(土)～5日(日)に計画している。感染対策を十分に行った上で開催したいと考えているので、よろしくをお願いしたい。
- ・(委員より) 資源回収ボックスの土地は自治会が市から借り、管理をPTAに行ってもらっているが、地域から自治会事務所に「ゴミが捨ててあることがある」と苦情が入る。この件について、PTAとしてどのように対応しているのか。
- (委員より) 昨年度から、そういった話は聞いている。PTA本部役員も気付いたときはゴミを撤去し、家庭のゴミとして処分している。家庭のゴミとして処分できないときは、学校に処分してもらっている。資源回収ボックスはPTA本部の管理なので、もし自治会に連絡が入った場合は、PTA本部又は学校へ連絡してほしい。
- (学校より) 子どもたちの教育活動を充実させることにつながる資源回収ボックスについて、地域の問題として取り上げてくださることがありがたい。地域で子どものことを考えていただいていることが分かる。今後も何かあれば教えてほしい。

## 7 校長挨拶

- ・「子どもは地域の宝」という言葉がある。脇之島小学校の子どもは、地域に支えられて育っているので、これからもよろしくをお願いしたい。